

体幹機能に関する研究（座位体幹回旋可動域測定装置）



【池袋キャンパス】 ヒューマンケア学部 柔道整復学科 准教授

原口 力也 Haraguchi Rikiya

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード：トランクローテーション (Trunk Rotation) ・体幹・腰回り



研究の概要

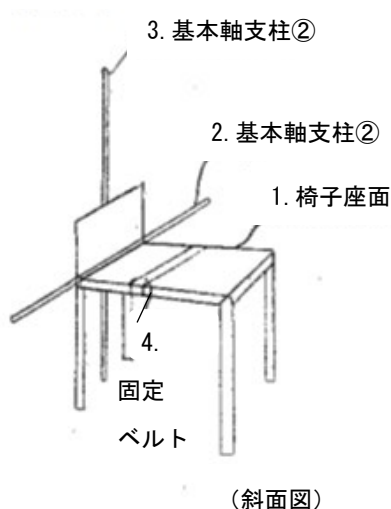
SDGs 目標 3：すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標 8：働きがいも 経済成長も

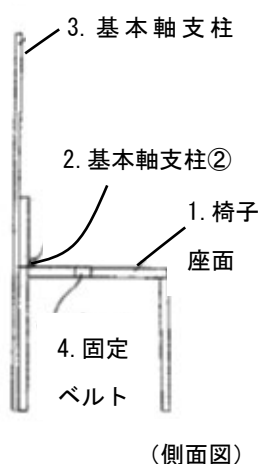
体幹機能は、身体機能における貢献度が高く歩行動作やスポーツ活動にも大きな影響を与える。体幹機能の評価には様々あるが、脊椎、胸腰椎部の可動域についての研究にあたり、測定装置の考案と作成をおこなった。

本考案は『**座位体幹回旋可動域測定装置**』として、実用新案登録している。

【図 1】



【図 2】



実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

【課題】

椅子本体に座面支柱、背部支柱、固定ベルトを設け測定時に生じる代償動作を除外し、座位での正確な体幹回旋可動域測定を実施できる体幹回旋可動域計測装置を提供する。

【解決手段】

椅子座面 1 上に地面と水平な支柱 2 と背もたれ 3 の中央部に地面と垂直な支柱を固定したものであり、椅子と身体を固定ベルト 4 にて固定する。支柱に沿って身体を合わせて椅子に座り、支柱から身体が離れないよう指示し、椅子と身体（骨盤）を固定し代償動作が起きないように測定を行う。測定時、上方から撮影を行い画像上に線を引くことで角度を計測する。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【考案の名称】

座位体幹回旋可動域測定装置

（登録番号）実用新案登録第 3241687 号 (U3241687)